



公表：令和 2年 6月 1日

事業所名 あなただが宝モノ・泉佐野教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令遵守に務めています。利用者数、プログラム内容に合わせて指導訓練室等、スペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		法令を遵守しています。また、法令の配置数に加えて、常勤換算で児童指導員等を1名以上配置し、より行き届いた対応をすることを心がけています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		生活空間は本人に分かりやすく構造化、システム通りに活動が出来るよう動線に配慮した環境にしています。又、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮を適切に実行しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		生活空間は随時空気清浄や換気を行い、清潔で心地よく過ごせる環境になっています。また、子ども達の活動の安全な空間となるよう、日々努めています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的に共有ミーティングを行い、全スタッフが参画しPDCAサイクルに沿って業務改善に繋がるよう務めています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今回初のアンケート調査での取り組みとなりますが、開所2年目に入り、今後も定期的にアンケート調査を実施し、より良い評価を頂けるよう業務改善に繋げていくよう務めます。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		今回初の自己評価となりますが、評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容をLINE・HP・ブログ・Facebook等で公開を実施して参ります。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		コンサルティング会社と提携し、常に利用者様にとって何が最善の療育となるかを考え業務内容の評価と改善策の提案を受けています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月に一度、職員の療育への意識向上・一貫性のある療育提供に向け日課活動・運動の研修・模擬を行っています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		日々、個々への聞き取りや情報共有、定期的なアセスメントに基づいてニーズや困り感を客観的に分析して課題とし、支援計画を立案し療育に繋げています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		日々、宝モノでのルール・システム化された行動で状況把握に配慮し、保護者様・学校の先生・相談員さんとの連携に伴い、共有しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		日々、支援計画や日報を確認してから療育に入っています。ニーズ・課題を把握し、繋がる療育・支援に務めています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		全スタッフで日々利用者様の支援計画に基づいて、状況・状態を共有し、日々の活動プログラムを立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		全スタッフで状況・状態を共有をする事で、様々な観点から療育・支援方法を試行錯誤しながら活動プログラムに変化を加えています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個々の状況・状態を把握し、コースの検討・適宜適切な療育が行えるよう支援計画の作成に務めています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日々の活動プログラム・内容に応じて担当を配置し、支援・療育内容を確認し合います。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		日々、利用者様の様子や状況、療育の振り返りや気づきを共有し、次回へ引き継がれる療育内容を認識し合っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		その日の担当者、療育内容や気づき、次回への引継ぎなど日報に記録する事を徹底し、より良い療育の提供に繋げています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		個別支援計画に基づき、定期的にモニタリングを実施し、コース・課題の見直しの必要性を日々の日報を通して判断しています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、児童発達支援管理責任者もしくは教室長が参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		市役所、保健センター、相談支援事業所等を定期的に訪問し、連携を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		医療ケアが必要なお子様を受け入れる場合は、関係機関と連携体制を整えています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		医療ケアが必要なお子様、また過去の手術による影響があるお子様を受け入れる場合、お子様の主治医と連絡体制、連携を取りながら支援を行っています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		担当者会議など、関係機関で情報共有、支援・療育内容を共有し、相互理解を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		学校機関、保護者様、関係機関と健全な成長をサポートする為に情報共有、支援・療育内容を共有し相互理解を図っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関が企画・開催している研修・セミナーに積極的に参加し、また訪問・見学させて頂き、療育・支援内容を共有、助言を受け、連携をとっています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	外出・交流などの活動経験はありません。今後、外出や障がいのないお子様たちとの交流の機会を設けていきます。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		地域の基幹相談支援センターが開催する研修に積極的に参加しています。又、その他会議やイベントへも参加していきます。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎の際や電話連絡、連絡帳、メール・LINEなど、日頃から個々の状況・状態を共有し合い、お子様の発達や課題について共通理解を持っています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		相談希望の保護者様には積極的に支援しています。又、上映会や外部講師を招いてセミナーを実施し、ペアレント・トレーニングに繋がるよう支援しています。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		最初に療育説明で支援内容のご説明と、日々の様子をヒアリングさせて頂き、お勧めのコースを体験頂きます。ご契約前に支援内容、利用者負担等を丁寧に説明しています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			保護者様のご同意を得ています。今後更に支援内容と支援計画を保護者様と深く共有する為、支援計画を示しながら、療育成果内容報告書で成果と今後の課題と方針をお伝えする面談をしていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			電話・連絡帳・メール・LINE等、いつでもご相談頂ける環境を構築し、日々の保護者様に個々に対応しています。今後、更に定期的に面談なども行い、相談しやすい環境作りに努めます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			当施設内で上映会や保護者会を開催する事で保護者同士の連携を支援しています。今後も積極的に機会を設けていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情相談窓口を設け、周知しております。相談や申し入れがありましたら、迅速かつ適切に対応しています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
守	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		LINE・HP・ブログ・Facebook・Instagram等、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をお子様や保護者様に対して発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		法令遵守しています。個人情報は鍵付き書庫に保管し、資料・書面はシュレッターにて破棄しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お子様には障がい特性を加味し、障がいのあるお子様や保護者様との意思疎通や情報伝達の為の配慮、利用しやすく分かりやすさで対応するよう心掛けております。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		教育委員会の後援を頂きまして、現時点で2度の講演会を開催させて頂きまして地域の方々にご来場頂きました。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員、保護者様に周知しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		入会時に事前調査票に記入して頂いた情報と面談をもとに服薬や予防接種、てんかん発作等の有無を把握しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		入会時に事前調査票に記入して頂いた情報と面談をもとに、食物アレルギーの有無を把握し、食物アレルギーのあるお子様については家庭や医師と連携し、対応しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例集を作成して共有し、事故防止に努めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止する為、職員の研修等に積極的に参加するなど適切な対応をしています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		現状、そのようなお子様はいませんが、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載する仕組みは構築しています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。